

## 第4次 茅野市こども読書活動推進計画

# こども読書の森づくりプラン

茅野市をさまざまな人が集う森と考えたとき、一本一本の木が育つように、一人ひとりの市民が健やかに成長し、この森がこころ豊かな森となり、やさしさと活力あるまちとなることを願います。

こころの豊かさはことばの豊かさです。読書活動を通じて「ことば」が豊かになることで、豊かな感性と想像力が育まれていくことでしょう。大人も子どもも、一人ひとりが読書に親しむことにより、「読書の森」が豊かに大きく育つことを願い、様々な場所や機会をとらえ、読書活動を推進します。

### 計画の基本方針 ～ こんなことを大切に取り組みます ～

家庭読書を大切に  
ことばと出会い  
生涯にわたって  
読書を楽しむ  
習慣づくり

読書の楽しさを  
味わい  
考える力・想像力  
読解力・表現力を養う  
読書活動の推進

デジタル社会や  
子どもの学びに  
対応できる  
読書環境の充実

読書への関心を  
高める  
主体的な読書活動

子どもの  
読書活動の意義や  
大切さについての  
情報提供



## みんなで読書の森をつくりましょう

### ことばとこころを育てる読書活動

子どもは、読書活動を通して多くの「ことば」を獲得し、聞く力や想像する力を伸ばすことができます。これらの力は読解力のもとになり、子どもの学びを支えます。

「ことば」は「こころ」の糧となります。心を込めて読んでもらった「ことば」から愛情が伝わり「こころ」の支えとなります。「ことば」を通して、知り、感じ、考え、伝え、行動することで、豊かな人間関係や生き方を創造し、「生きる力」を育みます。

茅野市の実践する「ことばとこころを育てる読書活動」は、豊かな感性に根ざした子どもの育成を願うものであり、「たくましく やさしい 夢のある子ども」を育む活動です。

### 地域で、家庭で、大人も子どももみんな一緒に読書に親しむために・・・

#### 家庭では

家庭は子どもの生活基盤となる場であり、家庭での読書体験は、本好きな子どもを育て、温かな家庭や望ましい人間関係をつくる源泉となります。おなかの中にいるときからの語りかけや生まれてからの読み聞かせを通して、肉声で「ことば」を伝え、「ことば」のやり取りをしながら、本に親しむ環境づくりをしましょう。



#### 地域・行政では

図書館など様々な施設で、ボランティアと連携して、おはなし会や読み聞かせ講座を開催したり、ブックプレゼントや本の紹介をしたりするなど、読書活動を通して、家庭での読書を応援します。



【担当】茅野市教育委員会

生涯学習課 こども読書活動応援センター

〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号(市役所4階)

TEL：0266-72-2101(内線 635)



「第4次茅野市こども読書活動推進計画」の詳細、行政や各施設・団体の具体的な取組については、茅野市のホームページをご覧ください。 <https://www.city.chino.lg.jp>

茅野市・茅野市教育委員会

※幼保小連携教育、小中一貫教育では、年長～小2、小5～中1を一つのまとまりと考えていますが、読書教育においては、学校での実際の読書活動に基づき、このように年齢を分けました。

### 子どもの発達段階の特徴と大切にしたいこと

おなかの赤ちゃんおはなし会

そして次の世代へ…

二十歳のお祝いに図書カードプレゼント

#### 胎児期（生まれる前）

一緒に心地よく

おなかの赤ちゃんは、お母さんのおなかにいるときから音が聞こえています。優しく語りかけたり、心地よい音楽を聞いたりして、穏やかに過ごそうにします。

ファーストブック 30冊の中から  
出生届提出時に1冊  
4か月児健診時に1冊 計2冊プレゼント

#### 乳児期（0歳～2歳）

やりとりと温もりの中で

周りの大人とのやりとりの中で、ことばを覚えていきます。肌のぬくもりを感じながら、語りかけやうたを聞いたり、読み聞かせによる絵本との出会いを楽しんだりして、家族との絆を大切にします。

朝の絵本の時間  
読み聞かせ  
月間絵本の紹介

#### 幼児期（2歳～6歳）

耳からの読書を楽しんで

大人との温かいかわりの中で、ことばや情緒、社会性などが発達します。耳からの読書を十分に楽しみながら、ことばの力や想像力・感性を伸ばします。友だちとの遊びの中で、さまざまな体験を通じて、絵本の世界を繰り返し楽しみます。

環境絵本  
『やつがたけのちゅち』  
プレゼント

#### 小学校低学年（6歳～8歳）

読む読書を楽しんで

ことばの力やものごとを理解する力も高まり、自然などへの関心が高まる時期です。聞く読書から読む読書へと、読む楽しさを実感する体験を重ねていきます。読書を楽しむ習慣をつけることで、自ら考える力や想像する力を伸ばし、感性を豊かにします。

セカンドブック  
30冊の中から1冊プレゼント

朝読書の時間  
読み聞かせ  
調べる学習への取組  
児童会活動

# ことばとところを育てる読書活動

## ～たくましく やさしい 夢のある子ども～

「少しの困難にあってもへこたれない、たくましく生きる力を持った子ども」  
「命を大切にして、相手のことを思いやるやさしい心を持った子ども」  
「一人ひとりが自分の夢を持って、それに向かって努力する子ども」

（出典：茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例  
平成24年(2012年)12月27日 条例第19号）

#### 青年中期・高等学校等（15歳～18歳）

生き方を探る読書活動

自我の確立を目指しながら、自分自身の進路に向き合っていきます。読書を自分の楽しみの一つとするとともに、自分の世界を広げ、生き方を探るための読書活動を続けていきます。

#### 青年前期・中学校（12歳～15歳）

目的を持った読書活動

思春期に入り、様々な葛藤の中で自分の生き方を探り始める時期です。自分が求める読書活動を通して、考えを深めたり、感動を体験したりし、これからの人生をより豊かに生きるための力をつけていきます。必要な情報を取捨選択し、知識を広げたり、自分の考えを整理したりしながら、自己を高めていきます。

#### 小学校中高学年（8歳～12歳）

幅広い読書活動

自ら考える力を伸ばし、想像力を豊かに広げながら、読解力を育む大切な時期です。幅広い読書活動をし、最後まで読み通す力や、考えを広げたり深めたりし、自分の思いや考えを伝えることができますようにします。

朝読書の継続  
読み聞かせ  
調べる学習への取組  
生徒会活動

